

令和 7 年度第 1 回熊本県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

開催日時：令和 7 年 7 月 23 日（水） 14：00～16：00

開催場所：KKR ホテル熊本

出席者：委員 13 名

日本年金機構 12 名

1. 開 会 熊本東年金事務所副所長

2. あいさつ 熊本東年金事務所長

3. 委員紹介

4. 議事

議題 1 令和 6 年度事業実施結果報告

議題 2 令和 7 年度事業計画

5. その他

- ・令和 7 年度第 2 回地域年金事業運営調整会議（令和 8 年 2 月予定）の開催について

【資料】・令和 7 年度第 1 回熊本県地域年金事業運営調整会議資料

・【別冊】令和 6 年度「わたしと年金エッセイ入賞作品集」

【事業概況説明】議事の前に資料に基づき地域年金展開事業の概要について事務局より説明。

【議題 1】事務局より資料に基づき令和 6 年度事業実施結果報告について説明。（概要は下記のとおり）

- ・地域連携事業として市町村・官公庁、社会保険労務士会、全国健康保険協会、社会保険協会、社会保険委員会、年金協会、自治体・町内会等および企業・団体等との協力連携の現状と今後の取り組み課題について説明。
- ・年金セミナー事業として教育機関へのセミナーの周知および実施状況、地域年金推進員の活動状況について現状と今後の取り組み課題について説明。
- ・地域相談事業として遠隔地の市町村での出張年金相談の実施状況、ハローワークでの説明会実施状況について現状と今後の取り組み課題について説明。
- ・年金委員活動支援事業として実務研修会の実施状況、情報提供（各種啓発資料の送付）の実施、年金委員委嘱拡大に向けた取り組み状況、年金委員

表彰の実施状況について現状と今後の取り組み課題について説明。

- ・「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組み等について現状と今後の取り組み課題について説明。
- ・地域年金事業運営調整会議について、令和6年度の開催状況および各委員からのご意見と対応状況について説明。
- ・令和6年度「わたしと年金エッセイ」入賞作品集（別冊）の紹介。

《令和6年度事業実施結果報告についてのご意見・ご要望・ご質問》

○（九州厚生局）

- ① 市区町村の国民年金窓口では、届書の受付以外の相談も行っており、難易度が増しているため、研修については、内容の充実を図り、引き続き取り組んでいただきたい。
- ② 税の週間およびねんきん月間で税務署と連携し、地域型年金委員の活用も考えて引き続き取り組んでいただきたい。
- ③ 短時間労働者の適用拡大について、令和9年から36人以上に法改正。職域型年金委員を活用しながら適用拡大を進めていただきたい。

▶（事務局）

- ① 市区町村では法定受託事務を超えて協力連携の形で難易度を伴う年金相談等も行っている。研修は内容を充実させ、各市区町村長との連携も密に進めながら取り組んでいきたい。
- ② 熊本県は令和6年度に初めて確定申告会場で税務署との連携を行った。お客様にその場で「ねんきんネット」を利用してもらうことで、確定申告に必要な年金情報が確認できるため、利便性の向上に繋がった。今年度はご意見のとおり地域型年金委員とのコラボも考えて引き続き税務署と取り組んでいきたい。
- ③ 職域型年金委員の委嘱について、今年度は数だけでなく、どのような活動をやってもらうかを考えながら取り組んでいる。小規模事業所の短時間労働者の適用拡大にも繋がるよう、量と質にこだわりながら職域型年金委員の拡大を進めていきたい。

○（辻委員）

社会保険協会においては当協会の加入事業所に対し、年金、保険制度の普及活動や研修を行っているが、事業所情報や、年金委員がおられるような意識の高い事業所がどこなのか分かれば、当協会の活動が進めやすくなる。年

金事務所との情報共有を前向きに進展させてほしい。また、厚生局のご意見もお聞かせ願いたい。

▶（事務局）

事業所情報や年金委員の情報については出せない状況。しかしながら、年金機構との情報共有が進められれば、貴協会の年金制度の普及活動にとっても有益となるので、今回の会議で出されたご意見は機構本部に伝えていく。

▶（九州厚生局）

年金委員には厚生労働大臣名で委嘱状を出しているものの、事業所情報や分析情報を持っていない。しかし何かできないか、日本年金機構と相談して進めていきたい。

○（石橋委員長）

地域型年金委員が減少しているが、高齢を理由にやめる場合、後任者の推薦をお願いしているのか。

▶（事務局）

地域型年金委員をやめられる場合、後任者の推薦をお願いしているが、委員の要件に年金知識等の縛りがあって、なかなか適格者がいないのが現状。

○（北原委員）

学生への年金教育はとても大切だと思っている。学校全体に対する年金セミナーの実施率は分からないが、多くの学校に実施のアプローチをしようとすると、年金事務所職員のマンパワーが大変なので、最初から学校のカリキュラムに入れ込んでもらうような働きかけが必要ではないか。また、対面方式ではなく WEB 方式も進めていく必要もあると思う。

▶（事務局）

学校のカリキュラムは、学校でやるべきことを優先されているので、年金セミナーはどうしても1月～2月に集中してくる。また、年金以外で、他機関のセミナー、例えば税務教育等も学校は取り入れており、年金のカリキュラムへの取り入れが困難になっている。学校によっては、公民や家庭科教育等、生活の中に必要な枠の時間で年金を取り入れてくれるところもある。今

後、効率の良いアプローチを行い、併せて、本日参加されている教育関係の委員様にも学校カリキュラムへの取り入れについて要望させていただきたい。

○（荒木委員）

- ① 社会保険労務士会でも、社会保険・労働保険について「ワークサポート事業」として、学校へ赴きセミナーを実施しているので、年金事務所とタイアップしてセミナーの協力ができればと考えている。
- ② 若い人達は年金制度がよく理解できておらず、20歳に年金のお知らせが届いてもどうしたらいいか分からない。保護者の立場として、せめて大学や専門学校において、20歳を迎える1年生で何かの機会を作っていただけたらと思う。今後の課題としてお願いしておきたい。

▶（事務局）

- ① 社会保険労務士会との会合で、会長からもタイアップの話をいただいている。同じ内容のセミナーで、社会保険労務士会と年金事務所の両方に有益なものであれば、具体化し進めていきたい。
- ② 開催校について、資料でもわかるように大学でのセミナー開催が非常に少ない。大学側も様々な事情で開催できない状況。20歳で手続きをしていないと、障害年金が受けられないことになるため、大学だけでなく、これから20歳を迎える中学生や高校生まで幅を広げて年金セミナーが始まったという経緯がある。ちなみに、大学へのアプローチとして、小規模ではあるが、熊本大学で定期的に年金相談会を開催しており、学生納付猶予特例申請の受付もしている。また、当機構において、WEBでの国民年金の申請受付や、フェイスブック等の活用、SNSでの配信についても取り組みを進めているところ。

【議題2】事務局より資料等に基づき令和7年度事業計画を説明。

（概要は下記のとおり）

- ・地域連携事業として、市役所や町役場を中心にポスターやリーフレットの設置、自治体各団体と連携し、制度説明会を実施する。
- ・年金セミナー事業について、セミナー開催アプローチを積極的に行い、オン

ラインセミナーも推進し、推進地域年金推進員の活用(学校訪問等)を行う。
併せて、エッセイ募集への取り組みも積極的に行う。

- ・地域相談事業として、市町村および関係機関（ハローワーク、税務署等）との協力連携を図り、制度説明会や出張相談を実施する。
- ・年金委員活動の活性化・地域型年金委員の委嘱拡大を積極的に行う。
- ・「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組みについて、各年金事務所が創意工夫し、年金制度の普及・啓蒙活動を積極的に実施する。
- ・地域年金事業運営調整会議について、令和7年度の開催予定および主な議事について説明。令和7年度第2回地域年金事業運営調整会議については、「書面」による開催。

《令和7年度事業計画についてのご意見・ご質問・ご要望》

○（九州厚生局）

国民年金の外国人適用収納対策について、市町村との協力連携により外国人の国籍情報を収集し、母国語のチラシやリーフレットにより納入特例や免除勧をされたらどうか。熊本県では10市町村の協力を得て取り組みをされていると捉えている。外国人の方は、母国語および簡単な日本語の2つで生活されている。国籍情報の収集については、市町村との合意が得られれば実施ができるので势力的に進めていただけたらと思う。また、行政では掴み切れない外国人のコミュニティを把握し、そのリーダーへのアプローチを行うことで対策の幅を広げることができるので参考にされたい。

▶（事務局）

国内の外国人はどんどん増えている状況。国民年金の現年度納付率は80%近くになってきているが、外国人の納付率は40%台に留まっている。年金に加入しないまま過ごされる方や、加入しても保険料は掛け捨てになるのではないかとの誤解をされている方にどうアプローチしていくかの対策が求められる。熊本県でも、協力をいただける市町村からは国籍情報をいただき、加入手続き等の案内送付時には、その方の母国語のチラシ（機構が準備している10数か国語のチラシ）と、ルビを大きく振り、優しく書かれた日本語のチラシを送付

するよう先行的に始めている。

また、熊本県においては、ベトナム人が多く、外国人コミュニティについて先日、熊本市国際事業団を訪問し、早速、ベトナム人協会を紹介してもらったので、今後、コミュニティのリーダーにアプローチして話を進めていく予定。

〈以上、各委員様よりいただいたご質問・ご意見・ご要望を受けた後、全議題とも全委員様からご承認いただきました。〉